

「常陽」利用検討委員会（第1回） 議事概要

日時：平成20年12月24日（水）13：30～16：20

場所：原子力機構東京事務所第1会議室

出席者：

岡委員長、井川委員、河北委員、竹田委員、巽委員、東嶋委員、吉田委員、
尾崎委員代理（久保田委員）、永田委員、廣井委員

原子力機構：中島理事、鈴木幹事、佐賀山幹事、此村幹事代理（高山幹事）

配付資料：

- 資料 1-1 「常陽」利用検討委員会の設置について
- 資料 1-2 炉内干渉物の対策状況と今後の計画について
- 資料 1-3 「常陽」がこれまで果たしてきた役割と主な成果について
- 資料 1-4 「常陽」の役割と今後の利用計画・ニーズについて
- 資料 1-5 「常陽」再起動に向けて
- 資料 1-6 「常陽」再起動への期待

議事内容：

1. 挨拶

本委員会の開催にあたって、中島理事及び岡委員長より挨拶があった。

2. 「常陽」利用検討委員会の設置について

事務局より、資料 1-1 に基づき、「常陽」利用検討委員会の設置趣旨等について説明があった。

3. 炉内干渉物対策の実施状況と今後の計画について

事務局より、資料 1-2 に基づき、炉内干渉物対策の実施状況と今後の計画について説明があった。以下に主なコメントを示す。

- ・対策の妥当性を判断するためには、トラブルの発生原因及び再発防止に係る情報が必要である。
- ・一般の方々の関心が高い安全性について、資料に「本作業により、放射性物質の放散等、外部に安全上のリスクがないこと」といった記載を追加する等の配慮が必要である。
- ・「常陽」をできるだけ早く運転再開することは必須であるが、その前提として (1)費用対効果、(2)時間、(3)交換・補修による技術的な成果や発展性があるかが問われるはずであり、よく吟味してほしい。

4. 「常陽」の主な成果と今後の利用計画・ニーズについて

鈴木幹事より、資料 1-3、1-4 に基づき、「常陽」の主な成果と今後の利用計画・ニーズについて説明があった。以下に主なコメントを示す。

- ・実験炉である特長を利用して、「早く」「信頼性の高い」「実機の」設計基礎・基盤データを提供し続けることが重要である。「常陽」は、「しっかりした基礎データ」、「工学規模での経験工学」、「それらを設計に展開できるエンジニアリング」を達成できる「研究成果の生産性の高い」プラントであり、その長所を伸ばすような取り組みが必要であると考える。
- ・独立行政法人にあっては経営感覚が問われる。今後、多目的利用を図るのであれば、利用料により運転費を賄えるのか等、どのような収支になるのかについても検討すべきである。

(原子力機構)「常陽」については、FBR 開発がメインストリームであり、多目的利用はあくまでも余力を活用して行うものであると認識している。

- ・日本には、FBR 国産化の目的があり、「常陽」や「もんじゅ」が建設された。単に経済性を議論するだけでなく、FBR 開発において、「常陽」を喪失した場合の影響を検討すること。
- ・「常陽」の利用は、現状、約 9 割が照射利用との話があったが、単に、照射だけであれば、海外炉を利用するほうが安価かもしれないが、過去の経験より、海外データには、品質確保やデータ追加依頼に多くの困難を伴うデメリットがある。また、技術者を養成し、技術力を向上することも重要な「常陽」の役割であると考えている。
- ・「常陽」を使うことができなくなった場合の影響評価として、海外炉を使った場合や「もんじゅ」を使った場合に、FBR 開発、基礎基盤、その他に対してどのようなメリット・デメリットがあるのか示すこと。
- ・「常陽」MK-I、II、III 炉心において、所期の目的を達成できたのか否か等について示すこと。

(原子力機構) MK-I 炉心の目的は、増殖性能の確認、Na 技術の実証、MK-II 炉心の目的は、照射炉として「常陽」を活用することであり、それぞれ所期の目的を達成した。MK-III 炉心の目的は、MK-II 炉心と同じであるが、まだ数サイクル運転したのみであり、成果がでるのはこれからである。これらを整理し、提示する。

5. 「常陽」の利用に関する委員からの報告

竹田委員より、資料 1-5 に基づき、「常陽」に対する大学からの期待等について報告があった。また、尾崎委員代理より、資料 1-6 に基づき、「常陽」に対するメーカからの期待等について報告があった。

6. その他

次回委員会は平成 21 年 2 月 25 日（水）を候補とし、大洗研究開発センターにて現地調査とともに開催する予定とした。第 3 回委員会については、3 月 17 日（火）を候補とした。最終的な日程・タイムスケジュールについては、別途事務局で調整し、連絡する。

以 上